

# 令和5年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 1 子どもたちに輝く未来をつなぐ

<b>主要課題</b>	No. 3	子育て支援サービスの安定的な提供
-------------	-------	------------------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4年後の目指す姿	ニーズに応じた必要な子育て支援サービスが安定的に提供され、安心して子育てができ、子どもが育つ環境が整っている。	
計画期間の方向性	○ニーズ量に対応する子育て支援サービスの提供 子どもと家庭を取り巻く環境が変化中、各家庭がより良い子育てを選択し、子どもたちが安心して成長できるよう、子育て支援サービスの拡充を図ります。計画期間中は、特に必要とされている一時保育事業や病児・病後児保育事業等を拡充します。	

<b>0 昨年度の施策の方向性（昨年度の点検における「4 今後どのように進めていくか」）</b>	
<p>ベビーシッター等による子育て支援事業については、サービスの安定的な提供を図るため、ベビーシッター利用料助成制度のほか、児童の年齢や家族構成に応じた追加の支援として、区独自の協定事業者と連携して実施するおうち家事・育児サポート事業やひとり親家庭子育て訪問支援券事業などの取組を推進していきます。</p> <p>また、一時保育事業（キッズルーム）については、利用者数がコロナ禍以前の状況に戻りつつあることも踏まえ、令和5年度に新規施設を1か所開設する予定です。</p> <p>地域子育て支援拠点事業については、大塚地区において早期に事業を開始できるよう施設開設に向けた準備を進めていきます。</p>	

事業費（令和4年度） 上段：実績 下段：当初予算

<b>1 どのような事業で・何をしたか（実績）</b>		戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。							
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割					事業費(千円)	
17	<b>一時保育事業</b>	子育て支援課・幼児保育課	在宅子育て世帯に、一時的に必要な保育サービスを提供する。					302,327千円 (312,670千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① キッズルーム（3ヶ所）の延べ利用者数	人	12,395	11,470	5,611	8,805	8,915		
	② 区立保育園での一時保育の延べ利用者数	人	6,369	5,323	1,600	1,797	2,595		
18	<b>病児・病後児保育事業</b>	子育て支援課	病中・病気回復期の子育て世帯に、一時的に必要な保育サービスを提供する。					93,168千円 (100,186千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 順天堂病後児ルーム「みつばち」の延べ利用者数	人	1,052	983	117	263	626		
	② 保坂病児保育ルームの延べ利用者数	人	1,220	1,306	419	1,051	1,265		
	③ 東京都立駒込病院病児・病後児保育室「ろびん」の延べ利用者数	人	—	—	2	105	176		
	④ ゆうひが丘春日病児保育ルームの延べ利用者数	人	—	—	—	520	723		
	⑤ 訪問型病児・病後児保育利用者への助成申請件数	件	174	235	131	90	28		
※修正…②のR2の実績									
19	<b>ベビーシッター等による子育て支援事業（旧：子育て訪問支援券事業）</b>	子育て支援課	子育て世帯に、一時的に必要な家庭保育サービスを提供する。					174,671千円 (140,622千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 子育て訪問支援券の延べ利用枚数	枚	11,494	11,498	8,074	10,464	—		
	② ひとり親家庭子育て訪問支援券の延べ利用枚数	枚	1,185	819	650	932	806		
	③ ベビーシッター利用料助成制度の延べ申請件数	件	—	—	—	399	3,003		
	④ 多胎児家庭サポーター事業利用料助成制度の延べ申請件数	件	—	—	—	41	60		
	⑤ おうち家事・育児サポート事業の延べ利用件数	件	—	—	—	—	2,533		
※修正…④のR3の実績									
R3(2021)	ベビーシッター利用料助成制度を令和3年8月から開始、4年4月から対象年齢等を拡大し、子育て訪問支援券事業を4年3月31日で終了しました。								
R4(2022)	「ベビーシッター等による子育て支援事業」の事業体系の変更に伴い、ベビーシッター利用料助成制度の実績が令和4年度に大幅に増加しました。								

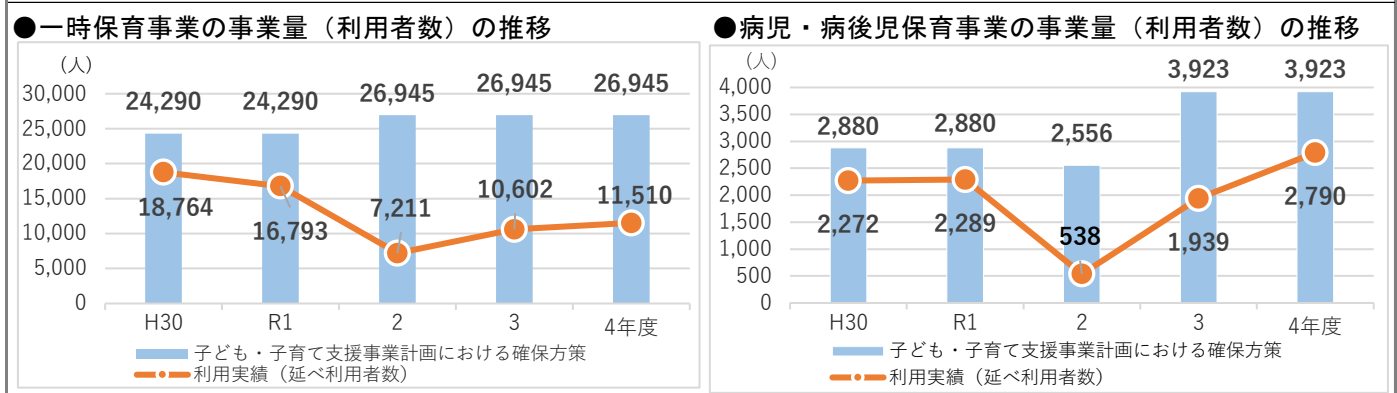
20	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	子育て世帯が、地域において相談や交流できる場を提供する。					41,248千円 (34,208千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① こまびよのおうちの延べ利用者数		人	2,147	2,154	1,767	1,519	1,641	
	② こそだて応援まちぶらの延べ利用者数		人	708	1,118	1,147	1,421	1,725	
	③ さきちゃんちpetitの延べ利用者数		人	—	0	1,906	2,713	2,618	
④ おひさま0・1・2延べ利用者数		人	—	—	—	—	521		
R4(2022)	おひさま0・1・2を令和4年12月に開設しました。								
●特記事項（実績の補足）									

2	現総合戦略において、社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）	人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
有	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	
令和5年4月にこども家庭庁が創設され、同時にこども基本法が施行されます。さらに、国は「こども政策推進会議」において、5年秋頃を目途にこども基本法に基づく「こども大綱」を新たに策定する予定であり、少子化社会対策や子ども・若者支援、子どもの貧困対策を、これまで以上に総合的かつ一体的に取り組んでいくこととしています。		

3	現総合戦略における成果や課題は何か（点検・分析）	1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。
---	--------------------------	--

○ニーズ量に対応する子育て支援サービスの提供

新型コロナウイルス感染症流行以降、子育て支援サービスの利用が全体的に低調でしたが、社会全体がコロナ禍前の日常に戻りつつある中で、感染状況を注視しながら各事業の運営を行い、令和4年度の各サービスの利用は全体的に回復傾向となりました。また、4年度にベビーシッター等による子育て支援事業「おうち家事・育児サポート事業」を開始し、5年4月に一時保育所「キッズルーム茗荷谷」を開設するなど、サービス提供の充実を図りました。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後においても、子どもと家庭を取り巻く環境の変化を把握しながら、子育て家庭のニーズに合う子育て支援サービスを安定的に提供していくことが求められています。



4	次期総合計画において、どのように進めていくか（展開）	3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、令和6年度から9年度までの次期総合計画の計画期間における戦略としての進め方を記しています。
---	----------------------------	--

引き続き、多様化する子育て世帯のニーズに対応するため、柔軟な事業展開を図るとともに、事業の利用に当たり区民の利便性が向上する取組を推進していきます。  
また、5年度に子ども・子育て支援に関する実態調査を実施し、子どもと家庭を取り巻く環境の変化を的確に把握しながら次期子育て支援計画の策定を行い、区の特性を反映した子育て支援施策の充実を図ります。

5	6年度、事業をどうするか（事業の見直し）	主要課題に紐づけられている個々の計画事業の6年度の検討の方向性を「継続」「レベルアップ」「見直し・縮小」「事業終了」「計画変更」で記します。
---	----------------------	--

事業番号	計画事業名	所管課	次年度の方向性
17	一時保育事業	子育て支援課・幼児保育課	継続
18	病児・病後児保育事業	子育て支援課	継続
19	ベビーシッター等による子育て支援事業	子育て支援課	継続
20	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	継続